

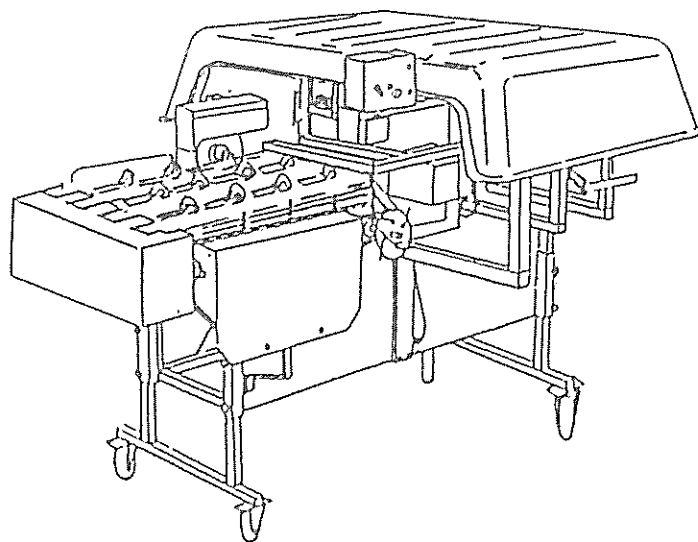
取扱説明書

IRINO

イリノ 大根アジャスター

DA4/11(R,L)AS_i 101(R,L)AS_i 011(R,L)NS_i 001(R,L)N
11(R,L)AS_i-W 101(R,L)AS_i-W 011(R,L)NS_i-W 001(R,L)N-W

DA4/11(R,L)AS_i 10(R,L)AS_i 01(R,L)NS_i 00(R,L)N
11(R,L)AS_i-W 10(R,L)AS_i-W 01(R,L)NS_i-W 00(R,L)N-W



正しく安全に効率のよい作業をしていただくため、ぜひ心掛けていただきたいことを述べていますので、ご使用前に必ずお読みください。誤った使い方をすると事故を引き起こすおそれがあります。

お読みになった後は必ず製品に近接して保存ください。

はじめに

- この取扱説明書は、大根アジャスターの取扱い方法と使用上の注意事項について記載しております。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いいただき、最良の状態でご使用ください。
- お読みになったあとも必ず製品に近接して保存してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、取扱い方法を説明し「取扱説明書」をよく読んでもらい取扱い方法や安全のポイントを理解してから作業するように指導してください。この取扱説明書を製品に添えてお渡しください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかに当社または当社の特約店・販売店にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上、使用部品の変更を行うことがあります。その際は、本書の内容および写真・イラストなどの一部が、本製品と一致しない場合がありますので、ご了承ください。
- ご不明なことやご気付のことがございましたら、お買上またはお近くの特約店・販売店にご相談ください。

▲印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので必ずお守りください。

▲危険 適切な事前注意を払わなかった場合に、死亡や重大な傷害が生じる危険が極めて大きいことを示します。

▲警告 適切な事前注意を払わなかった場合に、死亡や重大な傷害が生じる危険が存在することを示します。

▲注意 安全な取扱いに対する助言、あるいは適切な事前注意を払わなかった場合に、傷害または製品の重大な破損に至る可能性があることを示します。

大根アジャスターは、連続で大根のひげ取りを行うとともに、葉っぱと尻尾切りを同時に1行程で行います。

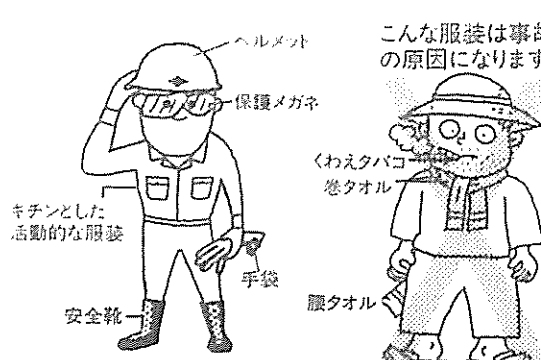
また、ひげ取部の後方のスベリ板を大根洗機に接続することで、大根アジャスターのバケットに大根をのせるだけで、ひげ取り、葉っぱと尻尾切り、洗い作業までが連続して行え、省力・高能率が可能となる出荷調整作業機です。

大根の調整方法とか作業手順などで16種類用意していますので、適した仕様機（区分）をお選びいただけます。

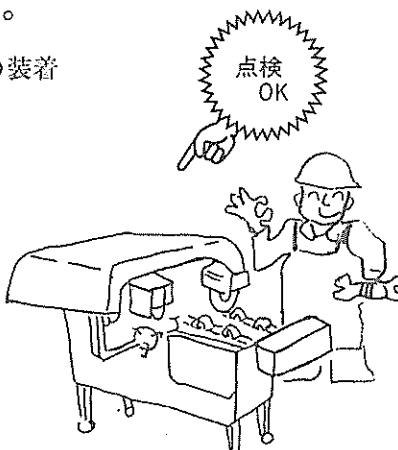
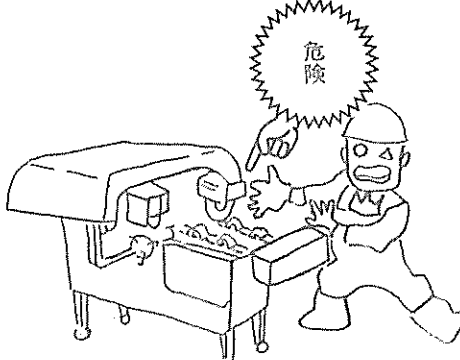
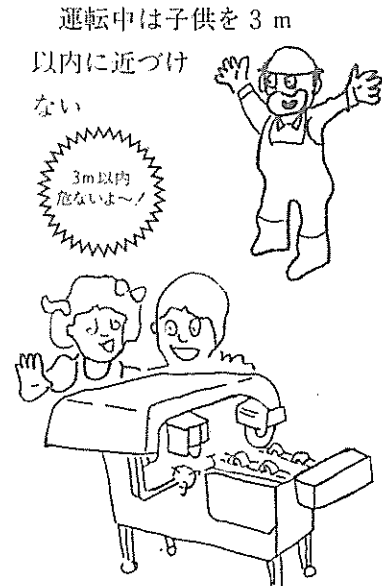
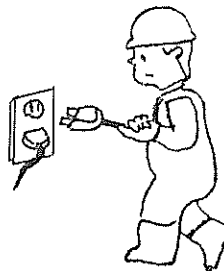
も く じ

○安全作業をするためにこれだけは守りましょう	1～3
○サービスと保証について	4
○仕 様	5
○本製品の使用目的について	6
○各部の名称	6
○安全銘板の貼り付け位置	7
○各部のはたらき	8
○使用準備	9～11
(1)カバーの組付	
(2)各部装置の確認（バケット・葉送りチェーン・Vベルト・カッター）	
(3)スベリ板、(4)切断寸法の調節（5）アジャスターの設置と脚高さ調節	
(6)ひげ取り部の確認（7）コンテナの設置	
○運 転	11～20
(1)ひげ取り糸（糸作り・糸かけ方法）	11～12
(2)ひげ取り部（ひげ取り円板・尻尾側ひげ取り円盤） ひげ取り円盤取付フレーム	13
(3)運転（作動確認・試運転）	14～15
(4)連続運転	
◎大根の出荷調整方法	
(DA4-11I(R,L)AS ₁) (DA4-11(R,L)AS ₁)	16～17
(DA4-11I(R,L)AS ₁ -W) (DA4-11(R,L)AS ₁ -W)	
(DA4-10I(R,L)AS ₁) (DA4-10(R,L)AS ₁)	18
(DA4-10I(R,L)AS ₁ -W) (DA4-10(R,L)AS ₁ -W)	
(DA4-01I(R,L)NS ₁) (DA4-01(R,L)NS ₁)	19
(DA4-01I(R,L)NS ₁ -W) (DA4-01(R,L)NS ₁ -W)	
(DA4-00I(R,L)N) (DA4-00(R,L)N)	19
(DA4-00I(R,L)N-W) (DA4-00(R,L)N-W)	
(5)運転停止・カッターモーターの脱着と一時不能操作	20
○日常の点検と整備	21
○長期保管	21
○故障と対策	22
○配線図	22～23
○保証書	
○安全説明確認カード	

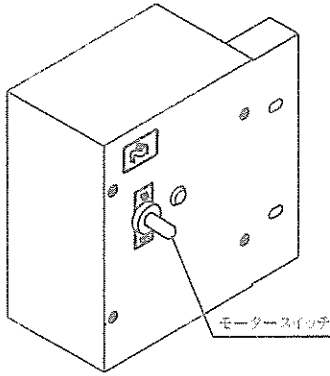
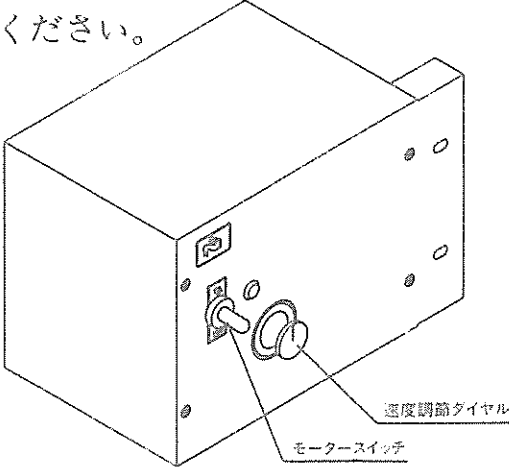
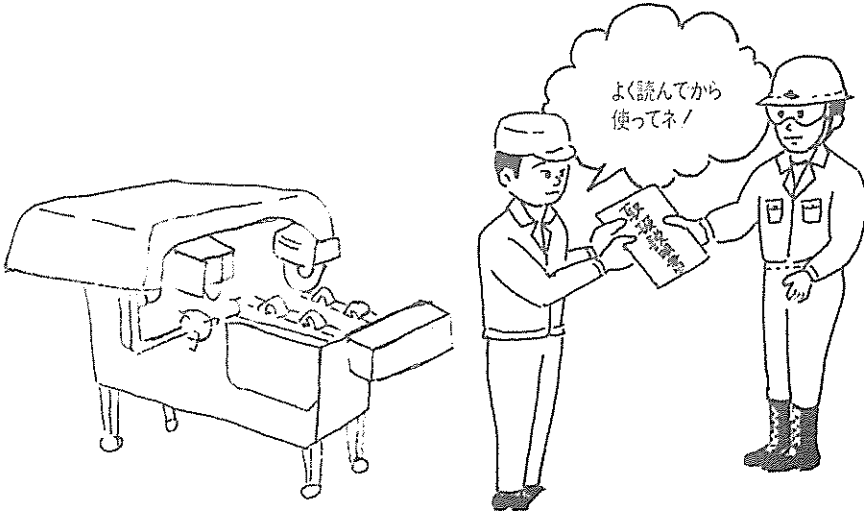
▲安全作業のためにこれだけは守りましょう

	説 明 内 容	確 認
傷 害 防 止	▲警告1. 本製品は大根の出荷調整作業（葉っぱ切り・尻尾切り・ひげ取り）に使用ください。 使用目的以外の作業や改造などは決してしないでください。	○
	▲警告2. こんなときは運転をしないでください。 ●過労・病気・薬物の影響、その他の理由により、正常な運転操作ができない人。 ●酒気を帯びた人 ●若年者・18才未満の人 ●妊娠している人 	○
	▲警告3. 服装はキチンとした活動的なものを着用してください。 (1) だぶついた袖口の服装や手拭いは、突起物などに引掛ったり、巻き込まれたり、転んで思わぬ事故につながります。 巻タオル、腰タオルも事故につながるおそれがありますのでキチンとした服装をしてください。 (2) 足元も突起物とか置物に引掛り転ばぬように安全靴とかこれに準ずる靴を着用してください。 (3) 頭部保護のためヘルメットとかこれに準ずる帽子を着用してください。 その他必要に応じ防塵メガネ・手袋を着用してください。 	○

▲安全作業のためにこれだけは守りましょう

	説 明 内 容	確認
傷 害 防 止	▲警告4. 始業点検を確実に行ってください。 (1)安全作業のための防護カバーの装着 各部の取付ネジは確実に 確認してください。 (2)カッター・バケット及びひげ 取部の損傷・異状な回転は ないか充分確認してください。 	○
	▲警告5. 運転中は、回転部には手を絶対触れないでください。  カッターなど回転部は もっとも危険で思わぬ事 故につながりますので、 手を入れたり、保護カバ ー、保護フレームをはず さないでください 運転中は子供を3 m 以内に近づけ ない 	○
	▲警告6. 点検・掃除のときは必ず電源よりプラグを抜いて行ってくだ さい。  回転部への葉茎などの巻付き、 詰まり等の除去・点検・掃除の ときは思わぬ事故防止のために、 必ずモーターの停止を確認し、 更にプラグを電源より抜いて行 ってください。	○

▲安全作業のためにこれだけは守りましょう

	説 明 内 容	確認
傷 害 防 止	▲警告7. カッターはブレーキスイッチで確実に停止させてください。 モータースイッチを「OFF」にすると、カッターにブレーキがはたらきカッターは停止します。 点検・調整は必ずカッターが停止していることを確認して行ってください。  スイッチ BOX  スイッチ BOX(インバータ仕様) ※ DA4/00(R,L)N DA4/00(R,L)N-W DA4/00I(R,L)N DA4/00I(R,L)-W 上記型式にはカッターは装備されていません。	○
	▲警告8. 機械を他人に貸すときは、取扱い方法をよく説明してください。 重大な傷害・機械の破損をまねくおそれがありますので、取扱方法をよく説明し使用前に「取扱説明書」を必ず読むように指導してください。 	○

サービスと保証について

1. 保証書について

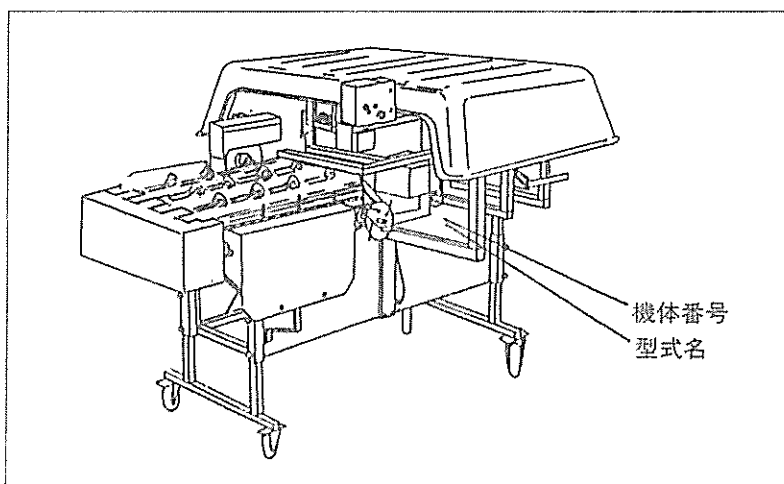
「保証書」はお客様が保証修理を受けられる際に必要となるものです。お読みになった後は大切に保管してください。

2. アフターサービスについて

機械の調子の悪いときに21ページの「故障と対策」に従って点検、処置しても、なお不具合があるときは、下記の点を明確にしてお買い上げいただいた販売店、農協までご連絡ください。

〈連絡していただきたい内容〉

- ・ 型式名と機体番号
- ・ ご使用状況は？
- ・ どのくらい使用されましたか？（約 時間使用後）
- ・ 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しくお教えてください。



3. 補修部品の供給年限について

この製品の補修用部品の供給年限（期間）は、製造打ち切り後8年です。ただし、供給年限内であっても、特殊部品については納期などをご相談させていただく場合もあります。補修用部品の供給は、原則的には上記の供給年限で修了しますが、供給年限経過後であっても部品供給のご要請があった場合には、納期および価格についてご相談させていただきます。

仕 様

品 名		大根アジャスター			
型 式 名		DA 4 (インバータ仕様)		DA 4	
		単 相	三相(W記号)	単 相	三相(W記号)
全長×全幅×全高(mm)		2138×1420×1200 (最低900)			
重 量 (kg)		210			
能 力 (本/時)		500～4000		500～3000	
所要動力	駆 動	200V100W×1 (ギヤードモーター)	200V100W×1 (ギヤードモーター)	100V100W×1 (ギヤードモーター)	200V100W×1 (ギヤードモーター)
	葉切りカッター	100V 90W×1	200V 90W×1	100V 90W×1	200V 90W×1
	尻尾切りカッター	100V 60W×1	200V 60W×1	100V 60W×1	200V 60W×1
	ひげ取り	100V 300W×1	200V 200W×1	100V 300W×1	200V 200W×1
カッター	葉 切 り	チップソー (12インチ)			
	尻尾切り	チップソー (9インチ)			
切 断 調 節 範 囲 (mm)		520～600			
脚 高 調 節 範 囲 (mm)		250			
ひ げ 取 糸		テグス3号 (標準)			

付属品 ・ ひげ取り糸 (20本)
・ 糸ゲージ ・ パー
・ スポンジ ()

▲注意 ブレーカーは安全作業のために次の規格としてください。
・ 大根アジャスター (DA 4 型) 単独使用のとき15A以上。
・ 大根洗機と同時使用のとき20A以上。

仕様(区分)記号の説明

仕 様 記 号	カッター装備				大根の流れ方向		葉送り方式	
	両カッター 付	葉っぱ切り カッター付	尻尾切り カッター付	カッター なし	右方向	左方向	チェー ン 方 式	装置 なし
11IRAS _i , 11IRAS _i 11IRAS _i -W, 11IRAS _i -W	○				○		○	
10IRAS _i , 10IRAS _i 10IRAS _i -W, 10IRAS _i -W		○			○		○	
01IRNS _i , 01IRNS _i 01IRNS _i -W, 01IRNS _i -W			○		○			○
00IRN, 00IRN 00IRN-W, 00IRN-W				○	○			○
11ILAS _i , 11ILAS _i 11ILAS _i -W, 11ILAS _i -W	○					○	○	
10ILAS _i , 10ILAS _i 10ILAS _i -W, 10IRAS _i -W		○				○	○	
01ILNS _i , 01ILNS _i 01ILNS _i -W, 01ILNS _i -W			○			○		○
00ILN, 00ILN 00ILN-W, 00ILN-W				○		○		○

(注) 大根の流れ方向の記号は、作業状態でひげとり部が左の位置(L)、右の位置(R)となります。

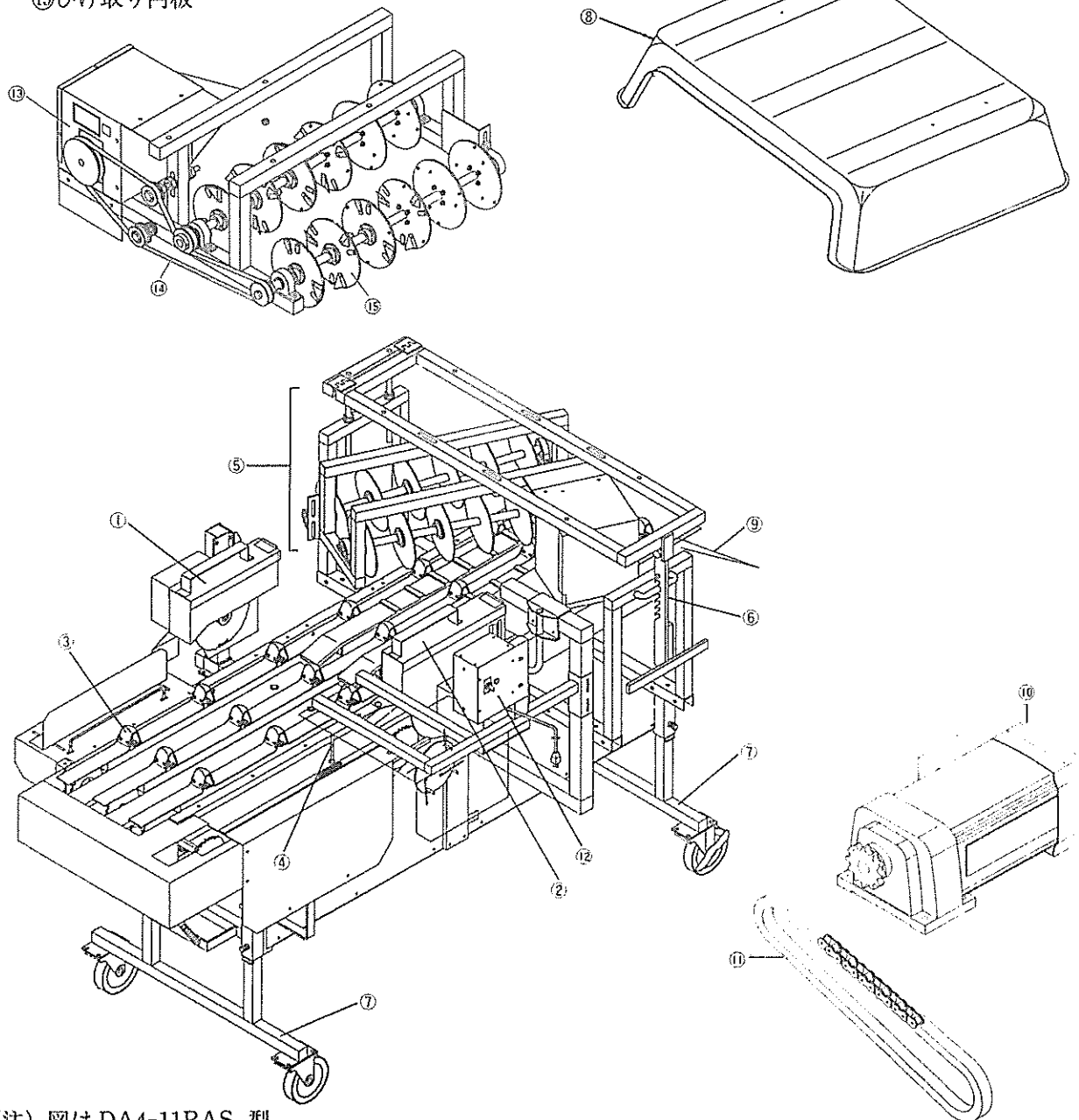
(注) この取扱説明書の各説明項目の中で、カッターに関連する説明は、
DA4/00(R,L)N-00(R,L)N-W-00I(R,L)N-00I(R,L)N-W 型には
該当しませんのでご注意ください。

本製品の使用目的について

本製品は、大根の調整作業機（葉切り・尻尾切り・ひげ取り）としてご使用ください。使用目的以外の作業や改造などは、決してしないでください。使用目的以外の作業や改造した場合は、保証の対象になりませんのでご注意ください。（詳細は、保証書をご覧ください）

各部の名称

- | | | |
|------------|-------------|----------------|
| ①尻尾切りカッター部 | ②葉っぱ切りカッター部 | ③バケット |
| ④葉送り装置 | ⑤ひげとり部 | ⑥高さ調節レバー（ひげ取部） |
| ⑦脚 | ⑧カバー | ⑨すべり板 |
| ⑩駆動モーター | ⑪駆動チェーン | ⑫スイッチボックス |
| ⑬ひげ取りモーター | ⑭Vベルト | |
| ⑮ひげ取り円板 | | |



（注）図は DA4-11RAS₁ 型

安全銘板の貼り付け位置

① 危険
 カッターに接触するとケガをするおそれがありますので、カッター部に手を近づけないでください。
 S900-005

② 危険
 カッターに接触すると、ケガをするおそれがありますので、カッター部に手を近づけないで下さい。
 S900-006

③ 注意
 取扱説明書をよく読んで安全に作業してください。
 ●電源を入れるときは、周囲の人がケガをしないように合図をし、安全の確認をしてください。
 ●作業を中断したり、終了するときはかならずスイッチを切り、差込プラグを抜いてください。
 S900-009

④ 注意
 運転中は、チェーン部に手を触れないで下さい。ケガをするおそれがあります。
 S900-010

⑤ 注意
 運転中は、ベルト部に手を触れないで下さい。ケガをするおそれがあります。
 S900-011

⑥ 注意
 点検時モーター停止
 電源を入れたまま点検整備をするとケガをするおそれがありますので、必ず電源を「OFF」にし、差込プラグを抜いてください。
 S900-015

⑦ 注意
 取扱説明書をよく読んで安全に作業してください。
 ●電源を入れるときは、周囲の人がケガをしないように合図をし、安全の確認をしてください。
 ●作業を中断したり、終了するときはかならずスイッチを切り、差込プラグを抜いてください。
 S900-008A

⑧ 単相(100V)専用です。200Vで使用すると電装品及びモーターが焼損します。
 S900-003

⑨ 使用電圧が85V以下になるとリレー、及びモーターが焼損するおそれがあります。
 S900-004

⑩ 注意
 安全作業のためにブレーカーの規格を確認ください。

単独運転のとき	15A以上
大根洗機と同時運転のとき	20A以上

No	部品番号	区 分	No	部品番号	区 分
1	S900-001	危 険	6	S900-015	注 意
2	S900-006	危 険	7	S900-009A	注 意
3	S900-002	注 意	8	S900-005	注 意
4	S900-002	注 意	9	S900-004	注 意
5	S900-003	注 意	10	S900-018	注 意

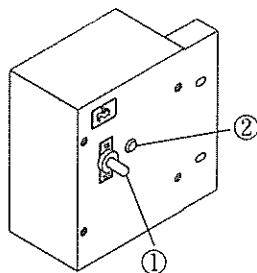
(注) 図は DA4-11IRAS₁ 型

各部のはたらき

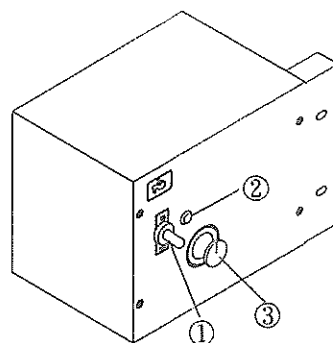
スイッチボックス関係

①電源スイッチ

- ・上に押し上げると、スイッチは「ON」になり、モーターが起動します。
- ・下に押し下げると、スイッチは「OFF」になりモーターが停止すると共にブレーキがはたらき「カッター」を停止させます。



4 スイッチBOX



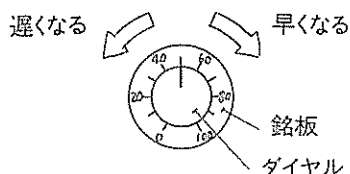
スイッチBOX(インバータ仕様)

②通電確認ランプ

- ・電源コードをコンセントに差し込むと点灯します。

③速度調節ダイヤル

- ・インバータのダイヤル操作でバケットの送り速度及び葉っぱ切りカッターの回転速度が変更されます。



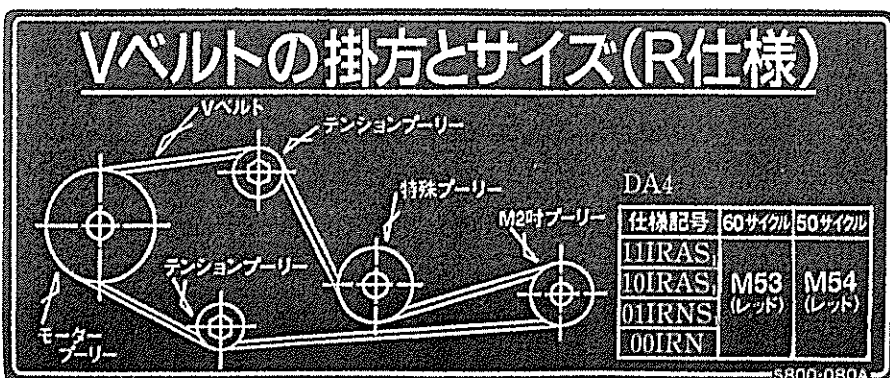
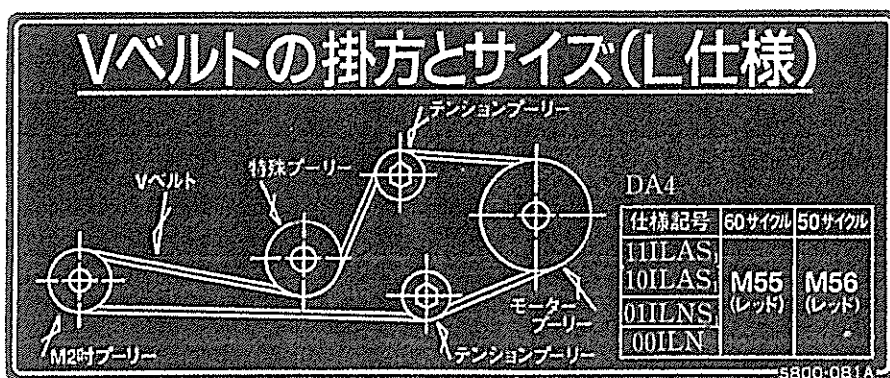
工場出荷は[50]で各部を調整していますので、もし任意に調整されたときは[50]を目安としてください。

Vベルトの掛方とサイズ

Vベルトの交換は下図要領で行ってください。

また、ラベルが汚損したときはラベル右下の番号で注文し貼付してください。

※単相仕様(100V)、三相仕様(200V)、インバータ仕様(100V、200V)、Vベルトは、共通です。

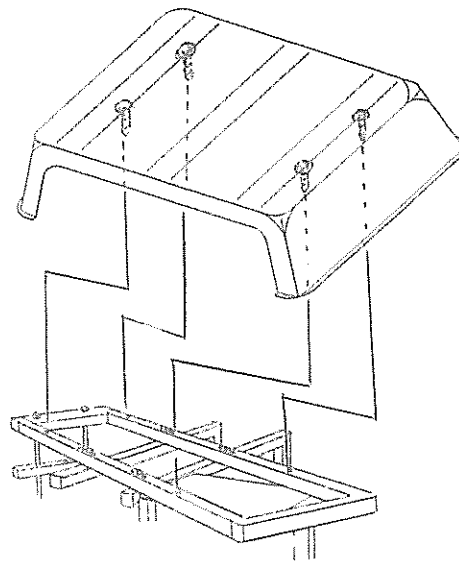


使用準備

大根アジャスターは、本機とカバーの2梱包となっています。本機を輸送用の保護材を除き、段ボールケースからカバーを取り出し、次の要領で正しく組立ててください。

1. カバーの組付

ひげ取り部のフレームの穴にカバーについている支柱を押しこみます。

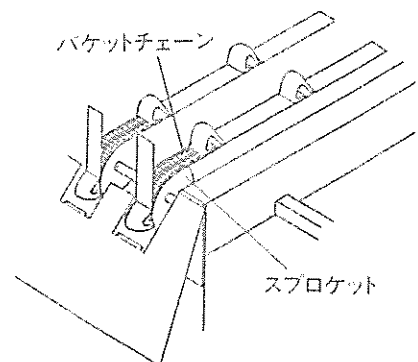


2. 各装置の確認

輸送中に装備しているチェーン・ベルト類が外れていることがありますので確認してください。外れたまま運転しますと思わぬ損傷事故をおこすことがあります。また、確認するときは、必ずプラグを電源より抜いて行います。

(1) バケットチェーンの確認

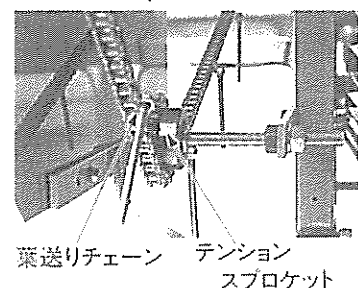
大根をのせるバケットが取り付けであるチェーンが、レール及びスプロケットから外れていないか確認し、外れていたら正しくレール及びスプロケットにのせます。



(2) 葉送りチェーンの確認

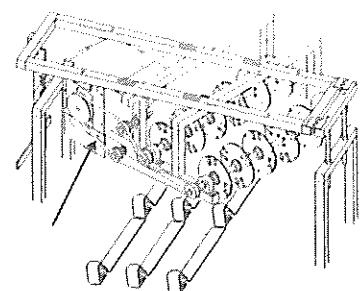
葉送り装置のチェーンがスプロケットから外れていないか確認してください。

外れていたら、正しくスプロケットにのせます。



(3) Vベルトの確認

ひげ取り部のVベルトがプーリーより外れていないか確認してください。外れていたら正しくプーリーにかけます。

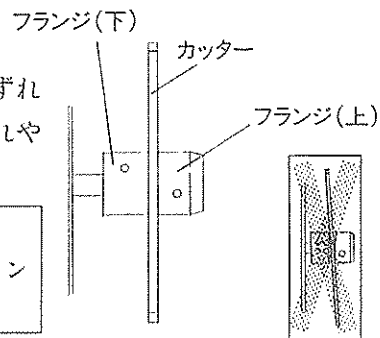


使用準備

(4) カッターの確認

ハンドルを使い、よく締まっているか確認します。カッターがずれて取り付けられると振動の原因ともなり、またカッターが外れやすくなり思わぬ事故となりますので正しく取付けてください。

カッター固定フランジは、右ネジと左ネジがあります。
型式仕様により、ゆるみ防止のため、締まりがったのフランジを使用します。



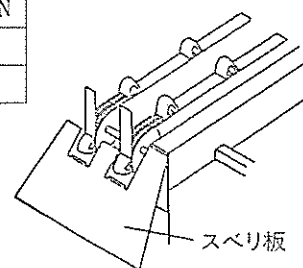
カッター固定フランジの使用区別

DA-4	仕様記号	11RAS ₁	10RAS ₁	01RNS ₁	00RN	11LAS ₁	10LAS ₁	01LNS ₁	00LN
葉切りカッター		L(左)	L(左)	—	—	R(右)	R(右)	—	—
尻尾切りカッター		R(右)	—	R(右)	—	L(左)	—	L(左)	—

右ネジ=R刻印 左ネジ=L刻印

※カッターフランジは、単相(100V)、三相(200V)、インバータ(100V、200V)仕様全て共通です。

3. 本機後方のすべり板を大根がころがり落ちるようにおろします。



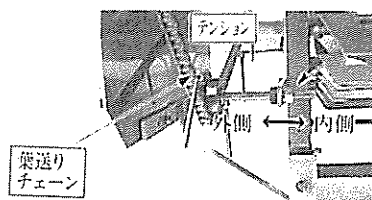
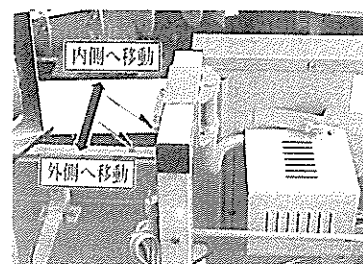
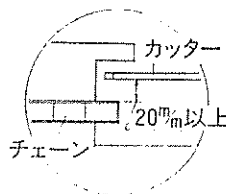
4. 切断寸法の調節

▲危険 調整は必ずプラグを電源より抜いて行ってください。
守らないと傷害事故をまねくおそれがあります。

葉っぱ切りカッターの4本のボルトをゆるめ移動させ、尻尾切りカッター(固定)との間隔を出荷寸法に合せ葉っぱ切りカッターを固定します。
同時に葉送り装置のテンションスプロケットをずらしてチェーンの位置を変えます。
この時、切断寸法が540mm以上であれば、葉送りチェーンは移動させる必要がありません。

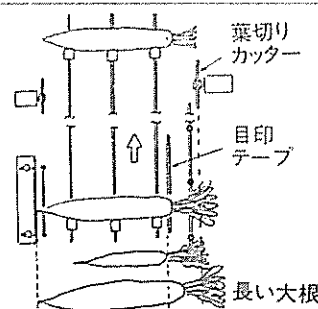
(注) 切断寸法を540mm以下にする時、葉っぱ切りカッターの移動と合わせ、葉送りチェーンも移動させます。この時カッターとチェーンとの間隔は20mm以上あけてください。

大根の出荷状態に合わせた調節方法は運転の項を参照ください。



葉っぱの切断位置の設定

葉っぱの長さを定寸で切断する場合、葉切りカッターから残したい葉の長さの分だけ内側に目印(大根の首を合わせる位置)としてテープを貼付し、このテープを目印に大根の首を合わせると定寸切りができます。



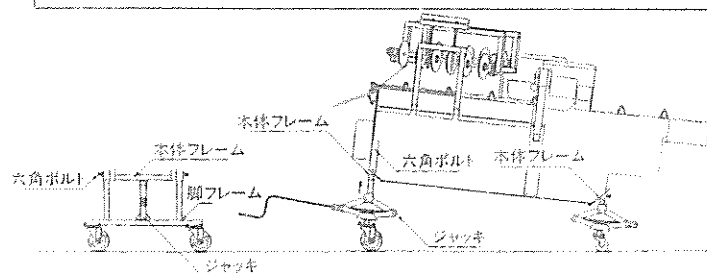
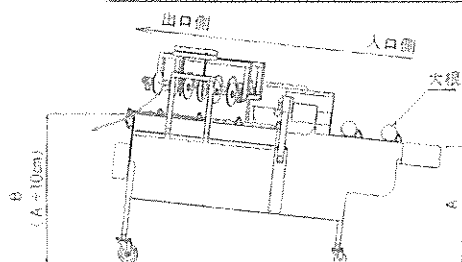
使用準備

5. 大根アジャスターの設置と脚高さ調節

大根アジャスターの設置基本は、出口側（B寸法）が入口側（A寸法）より10cm高くなるように脚高さを調節してください。（必ず傾斜姿勢で運転します）

（注）水平状態に設置運転すると、大根がうまく転がらずアジャスター機能が正常に発揮されません。

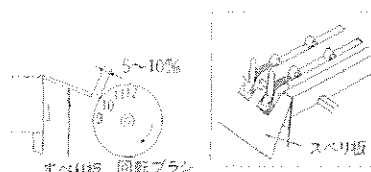
▲注意 脚の高さ調節をするときは、反対側の車輪に車輪止めを施し、ジャッキを両フレームの中央に当てがい、持ち上げ側の固定ボルトを弛めておきジャッキアップします。高さが決まれば固定ボルトを締め、ジャッキダウンしてください。ジャッキ操作は傷害防止のためアジャスターから離れた位置で行ってください。



大根洗機と接続する場合、本機のすべり板と洗機の下ブラシ（回転ブラシ）との接続は、時計で言う10時の位置が目安となります。

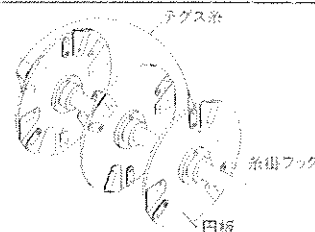
アジャスターと洗機との高さが合わないときは、洗機の脚高さを調節してください。

尚、通常洗機の入口台は外して接続できますが、なかには入口台を傾斜させる必要のものもあります。



6. ひげ取り部の確認

回転円盤にテグス糸を取り付けてひげを取る方式です。テグス糸が円盤のフックに正確に引っかかり、円盤に対し直角でなく、大根の表皮に傷をつけないために、フック位置を1ヶずらした位置に引っかけてあることを確認します。



テグス糸は3号を標準としています。

しかし、品種、収穫時期により大根の状態が異なり表皮に傷が入る場合がありますので、必ず適切なテグス糸の変更を行ってください。

7. 葉っぱ切りカッターと尻尾切りカッターの下に、切断された葉や尻尾を受けるコンテナ等の容器を設置します。

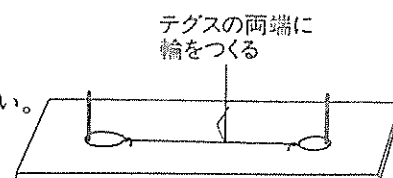
運 転

1. ひげ取り糸

ひげ取り糸（テグス）は、ひげの取れ具合、傷の有無に関係し大根の価値に大いに影響しますので、ひげ取り糸の選択と取り扱いが大切です。

(1) 糸作り

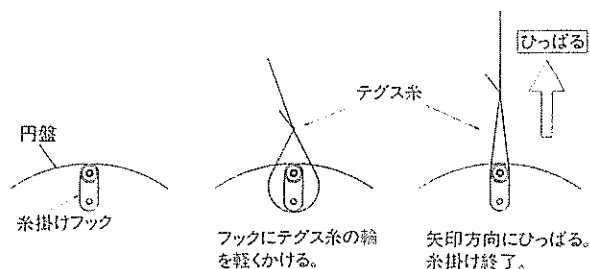
糸ゲージを利用し、すべて同じ長さのものを作ってください。長さがまちまちですと大根へ傷が入るなど不具合の原因となります。



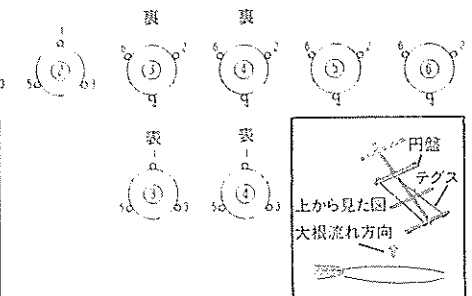
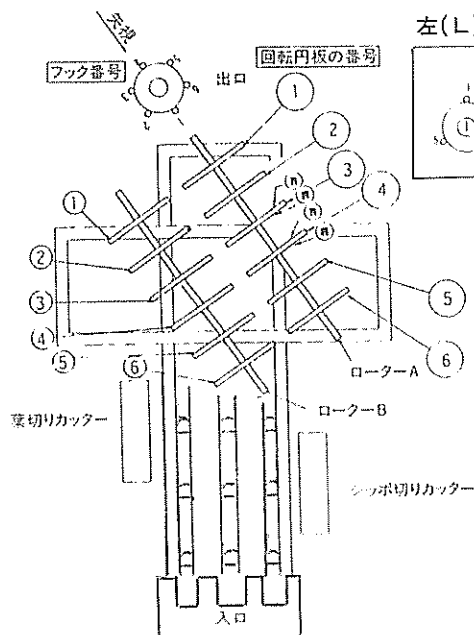
—1台分=24本—

(2) 糸かけ方法

糸の輪をひげ取り円盤のフックに両方をかけます。糸かけ方向は、ひげを効率よく取るために1ヶ前の円盤のフック位置を1ヶずらしてかけます。



左(L)仕様機の糸かけ要領

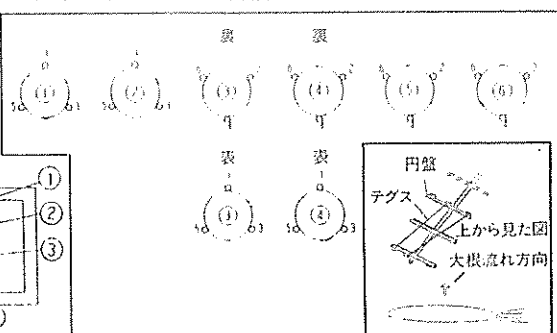
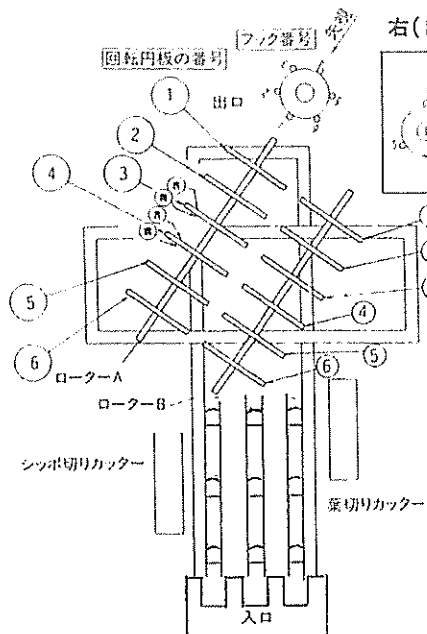


テグス掛け要領表 (表の見た方) 表は、円盤1のフック1番にかけたテグス糸は、円盤3の裏側の6番フックへかける。

① 1-1	→ ③ (裏) - 6	② 1	→ ④ (裏) - 6
1-3	→ ③ (裏) - 2	2-3	→ ④ (裏) - 2
1-5	→ ③ (裏) - 4	2-5	→ ④ (裏) - 4
③ (表) - 1	→ ⑤ - 6	④ (表) - 1	→ ⑥ - 6
③ (表) - 3	→ ⑤ - 2	④ (表) - 3	→ ⑥ - 2
③ (表) - 5	→ ⑤ - 4	④ (表) - 5	→ ⑥ - 4

※ローターAの1-1・③(裏)-6と順番にテグスを掛けていきますが、掛けていく際テグスが交差しないよう注意して下さい。
もう一方のローターBも同じ要領で作業して下さい。

右(R)仕様機の糸かけ要領



テグス掛け要領表 (表の見た方) 表は、円盤1のフック1番にかけたテグス糸は、円盤3の裏側の2番フックへかける。

① 1-1	→ ③ (裏) - 2	② 1	→ ④ (裏) - 2
1-3	→ ③ (裏) - 4	2-3	→ ④ (裏) - 4
1-5	→ ③ (裏) - 6	2-5	→ ④ (裏) - 6
③ (表) - 1	→ ⑤ - 2	④ (表) - 1	→ ⑥ - 2
③ (表) - 3	→ ⑤ - 4	④ (表) - 3	→ ⑥ - 4
③ (表) - 5	→ ⑤ - 6	④ (表) - 5	→ ⑥ - 6

※ローターAの1-1・③(裏)-2と順番にテグスを掛けていきますが、掛けていく際テグスが交差しないよう注意して下さい。
もう一方のローターBも同じ要領で作業して下さい。

▲注意 糸かけ方向が基本より変わると、糸の位置(長さ)が変わり大根に接する距離(長さ)も変わり、大根へ傷がついたりするなど不具合が発生します。

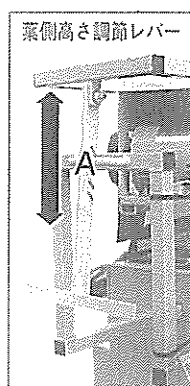
○R流れ仕様、L流れ仕様それぞれ糸かけ方向は専用ですので全ての糸を変えるときは必ず基本に準じてください。

2. ひげ取り部

▲注意 大根の長さ・太さ・形状に合わせ、「ひげ取り部」の高さ調節が必要です。調節を怠ると大根に傷がつくなど品質を損なう場合がありますので大根の状態に合わせ必ず調整してください。

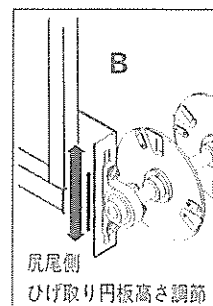
(1) ひげ取り円盤

葉側高さ調節レバー（写真A）で上下させ調整します。5段階調節で80mm（1ピッチ20mm）の調整ができます。

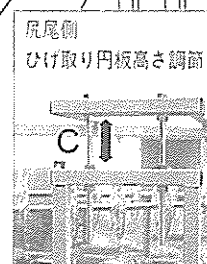
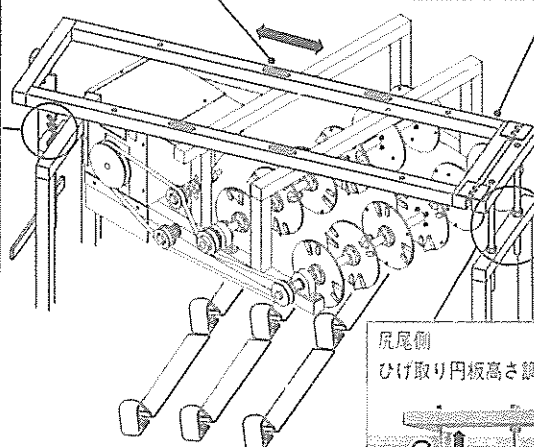


ひげ取り円盤取付フレーム
スライド用長穴

D



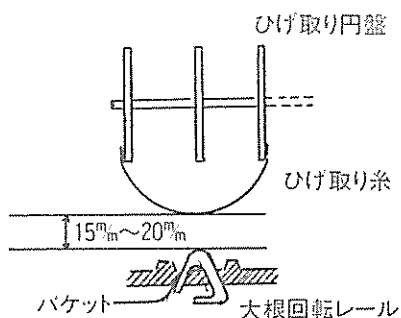
尻尾側
ひげ取り円盤高さ調節



尻尾側
ひげ取り円盤高さ調節

▲注意

バケットとひげ取り糸との間隔は15～20mmあけてください。これ以下にひげ取り円盤を下げると、バケットが後方で回転する時、ひげ取り糸と接触し糸が切損します。



(2) 尻尾側ひげ取り円盤

葉側高さ調節レバーで、ひげ取り円盤の全体を調整したが、尻尾側のひげ取り円盤をいまだ調整（微調整）したいとき尻尾側高さ調節を「長穴スライド式」（図B）又は「ホルト式」（写真C）にて行ってください。

(3) ひげ取り円盤取付フレーム（図D）

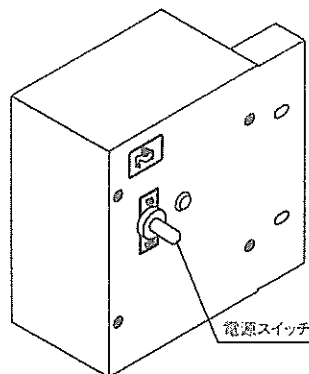
スライド方式ですので、長物の大根にかわったとき調整し、ひげ取り糸が大根全体にあたるようにしてください。

3. 運 転

▲危険 スイッチを入れるときには、カッター部・ひげ取り部・バケット部及びチェーンの回転部に人が手を触れていなくて危険がないことを必ず確認してください。不用意にスイッチを入れると傷害事故をまねくおそれがあります。

(1) 作動確認

- (1) 電源スイッチOFF（停止）を確認し、プラグを電源に差し込み、各回転部に危険がないことを確認し、スイッチをON（起動）し、各部が正常に動くことを確認してください。
- (2) 電源・スイッチを押し下げ「OFF」にし、モーターが停止し、さらにモーターにブレーキがはたらきカッターが停止することを確認してください。異状があれば修理が必要です。販売店へ連絡ください。



▲注意 ブレーカー規格のお願い

- ・大根アジャスターの単独使用のとき
.....15 A 以上
- ・大根洗機と同時運転のとき
.....20 A 以上

200V仕様の場合

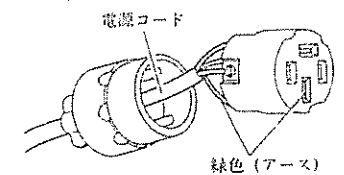
▲危険 配線を入れ換える場合は、必ず電源コードを抜いて行ってください。感電するおそれがあります。

▲警告 運転中、カッター部など回転部には絶対に手や指を入れないでください。ケガをするおそれがあります。

▲注意 停電時は、すぐにモータースイッチおよびブレーカースイッチを切ってください。通電したときに、急に回りだしてケガをするおそれがあります。

逆に回転している場合は、電源コードの配線を変えます。

- 1) モータースイッチ、電源スイッチを「OFF」にし、電源コードを抜きます。
- 2) 緑色（アース）以外の線（3本）のうち2本の線を入れ換えれば、回転方向が変わります。



- ・モータースイッチを「ON」にしてモーターを始動させます。
ひげとり部または大根洗機の方に回転しているかを確認します。

(2) 試 運 転

- (1) 太い大根と細い大根を用意します。
- (2) 切断位置を合わせながら、細い大根から太い大根を交互に流します。
大根は、バケットに連続でなく、葉っぱのからみを避けるため1バケットあけて入れます。
洗機も同時に動かし大根の流れを確認してください。
- (3) 大根を流し終わったら、必ずスイッチをOFF（切）し、回転部の停止していることを確認して大根のひげの取れ具合を確認します。

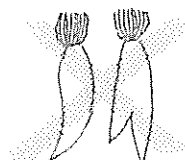
- (4) ひげの取れ状態を見て、高さ調節レバーでひげ取り部の高さ調整を行ってください。

調整するときは必ずプラグを電源より抜いて行います。

(注)ひげの取れ具合が、ひげ取り部の調整をしても良くならない場合には、ひげ取り糸（テグス）の太さ（号数）を上げてください。逆にひげは取れているが大根への傷が目立つ場合は、ひげ取り糸（テグス）の号数を下げてください。
それでも、ひげの取れ具合とか大根への傷に問題がある時は、販売店にご相談ください。

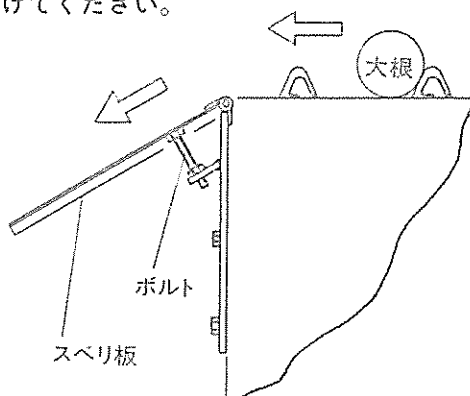
- (5) 洗機へスムーズに流れ落ちるように、脚の高さとスベリ板の角度を調整します。

(注)大根の形状が、曲りの強いものとか二又とかの異形のものは入れないでください。
ひげ取り糸（テグス）が切れる原因になるばかりか、機械の損傷の原因になります。



(注)洗機と本機を接続する場合、本機のみの高さを調整すると、スベリ板の角度が変わり、ゆるくなったときは洗機へスムーズに流れ落ちない場合がありますので、スベリ板の角度を、ボルトを調節し下げてください。

スベリ板の角度が悪いと、大根のころがり、流れが悪くなり、洗機とバケットの間に大根がはさまり機械損傷の原因になります。
大根が詰まるとバケットが変形し、この変形のため凸状スポンジが離脱することがありますのでよく点検し速やかに修理してください。



(修理方法はP20の「日常の点検と整備」を参照してください)

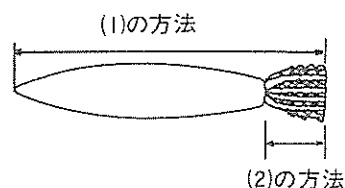
- ▲注意
- 作業を開始するときは、各部が安定した作業性能を発揮するためにモーターが一定の回転域で安定した後に行います。
 - 運転中はカッターの状態・ひげの取れ具合・傷の有無、また大根洗機への流れ状態などについて注意します。
 - 作業者に連絡をとるときは、正面から話すとか、体にタッチし作業者の視野に入って話します。
 - 服装は、シャツの袖口、裾をキチンとし、作業中に引掛かることのないようにしてください。

●大根の出荷調整方法

(1) 大根の尻尾から葉までが定寸となるように、葉の切る位置を調節する方法。

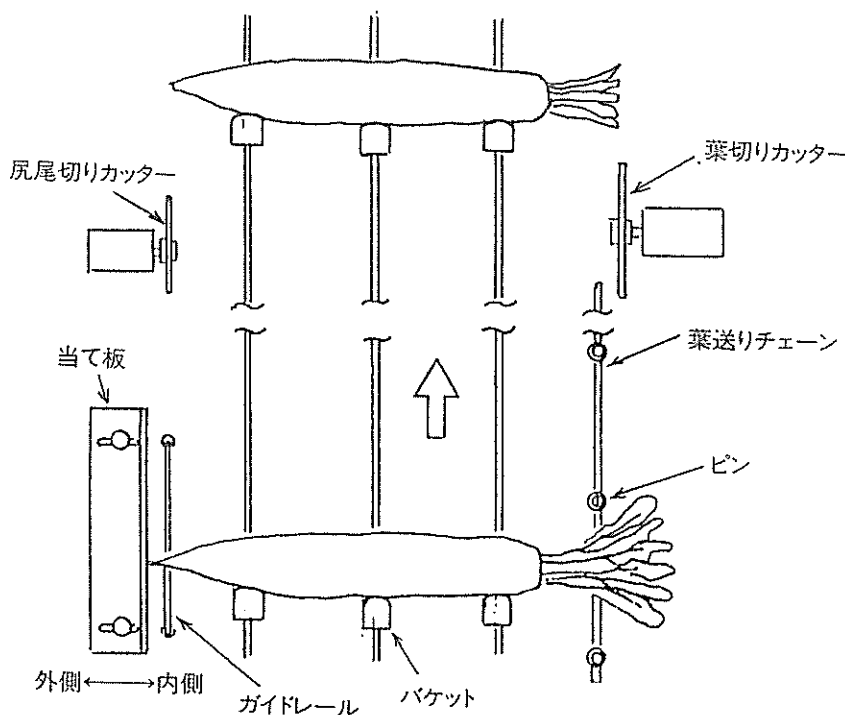
(2) 大根の首から残す葉の長さを定寸で切る方法。

(ただし、出荷箱に大根が納まりきらない場合は
葉は定寸より短かく切り、箱に納まるようにする)

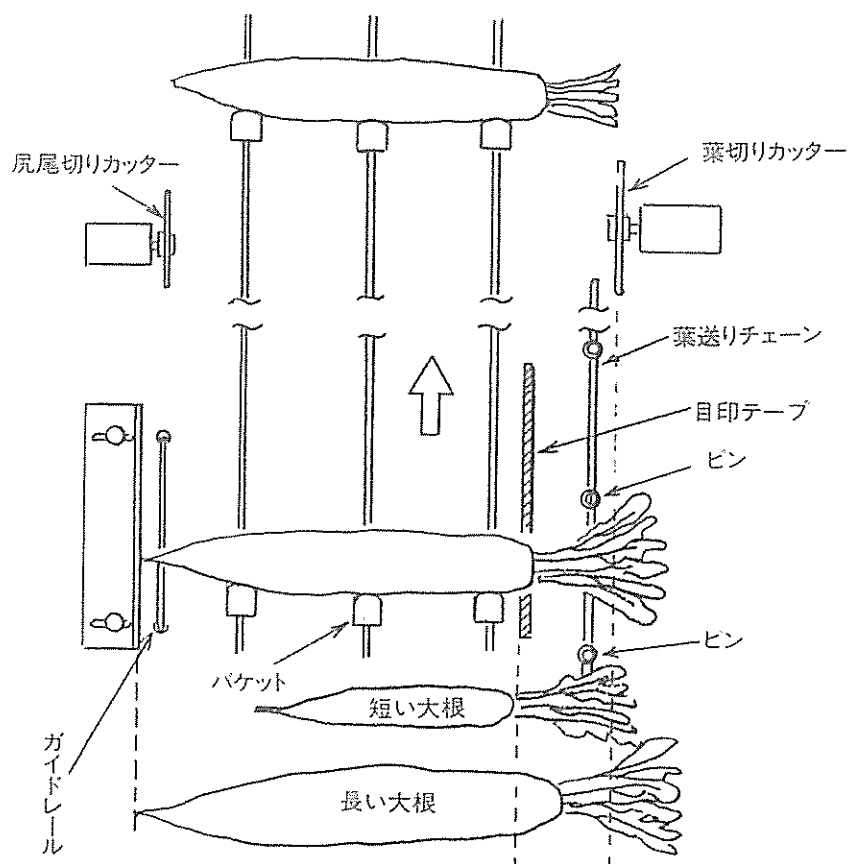


●調整作業要領

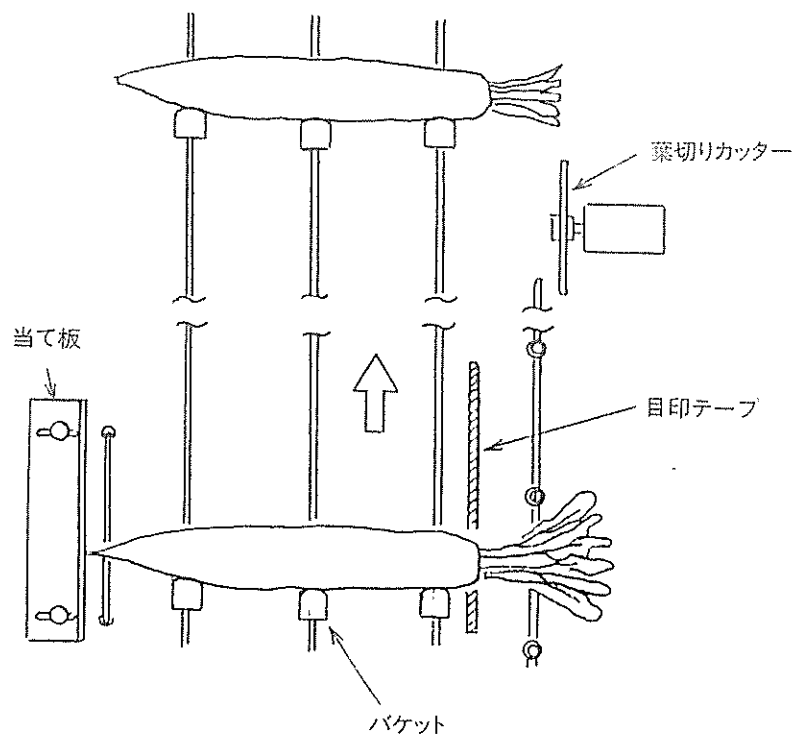
使用機	DA4-11RAS ₁ (W)・DA4-11LAS ₁ (W) DA4-11IRAS ₁ (W)・DA4-11ILAS ₁ (W)
調整方法	尻尾からの長さを一定として葉を定寸切りする。つづいてひげ取りをする。
要 領	①葉切りカッターを調節し、尻尾切りカッターからの距離(長さ)を決められた(出荷箱に納まる)寸法にセットする。 (同時に、葉送りチェーンも微調整する) ②尻尾を「当て板」に押しつけながら大根をバケットに置く。尻尾の切れ具合を確認し「当て板」を調節する。 ○切れ方が深すぎるとき＝ガイドレール側に寄せる。 ○切れ方が浅すぎるとき＝ガイドレールより離す。 ③葉っぱは、葉送りチェーンのピンとピンの間に束ねて置く。



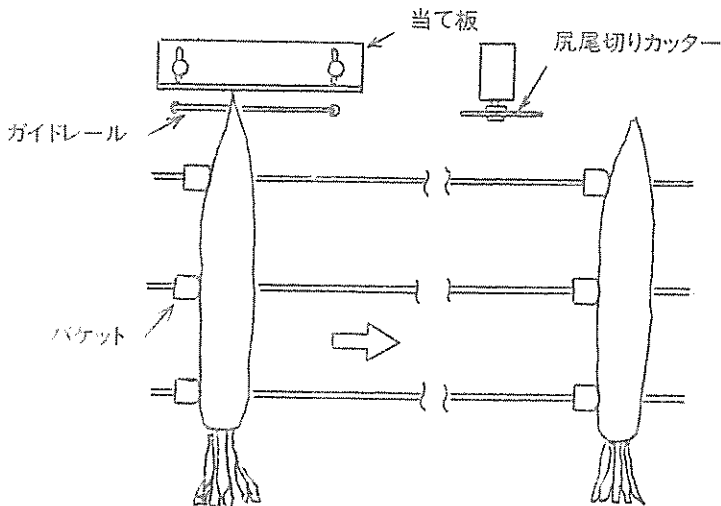
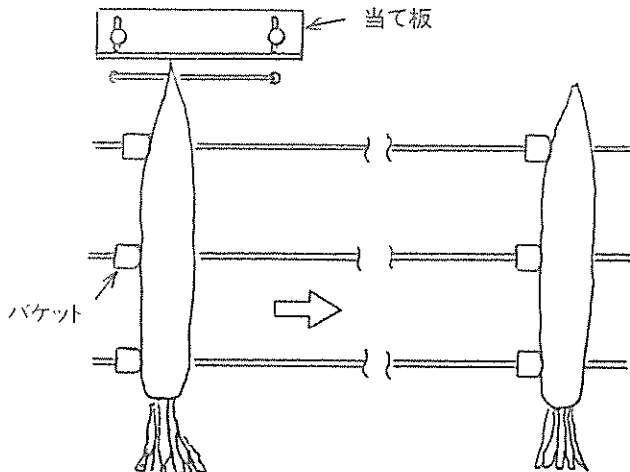
使用機	DA4-11RAS ₁ (W)・DA4-11LAS ₁ (W) DA4-11IRAS ₁ (W)・DA4-11ILAS ₁ (W)
調整方法	首から残す葉の長さを定寸で切る。つづいてひげ取りをする。
要 領	①葉切りカッターを調節し、尻尾切りカッターからの距離(長さ)を決められた(出荷箱に納まる)寸法にセットする。 (同時に葉送りチェーンも微調整する) ②葉切りカッターから残したい葉の長さ分だけ内側に目印(大根の首を合わせる位置)としてテープを貼付する。 ③目印テープに大根の首を合わせながら葉を束ねてバケットに大根を置きます。 葉は定寸で切断されます。 短い大根は尻尾が切れないので後で切ります。 長い大根は、「当て板」に尻尾を押しつけて入れます。葉は定寸より短くなりますが、出荷箱にピッタリ納まる寸法で切断され、箱に入れる前の葉の切り直しが不要となります。



使 用 機	DA4-10RAS ₁ (W)・DA4-10LAS ₁ (W) DA4-10IRAS ₁ (W)・DA4-10ILAS ₁ (W)
調整方法	首から残す葉の長さを定寸で切る。つづいてひげ取りをする。
要 領	①葉切りカッターを調節し、当て板からの距離（長さ）を決められた（出荷箱に納まる）寸法にセットする。 ②葉切りカッターから、残したい葉の長さ分だけ内側に目印（大根の首を合わせる位置）としてテープを貼付する。 ③目印テープに大根の首を合わせながら葉を束ねてバケットに大根を置きます。 ④尻尾の切断は、バケットに置く前か、葉っぱの定寸切り調整が終わった後に行います。



運 転

使用機	DA4-01RNS ₁ (W)・DA4-01LAS ₁ (W) DA4-01IRNS ₁ (W)・DA4-01ILNS ₁ (W)
調整方法	尻尾の切断。つづいてひげ取りをする。
要 領	○葉切り作業は、本機での作業前か、ひげ取り作業後に行います。 ①尻尾を「当て板」に押しつけながらバケットに置きます。 尻尾の切れ具合を確認し、「当て板」を調節する。 ○切れ方が深すぎるとき＝ガイドレール側に寄せる。 ○切れ方が浅すぎるとき＝ガイドレールより離す。
	
使用機	DA4-00RN(W)・DA4-00LN(W) DA4-00IRN(W)・DA4-00ILN(W)
調整方法	ひげ取りをする。
要 領	○葉切り作業・尻尾切り作業は、本機での作業前か、ひげ取り作業後に行います。 ①「当て板」に尻尾を押しつけながら、バケットに置きます。 大根は、バケットのどの位置に置いても良いが、尻尾の位置がそろっていると、本機の構造上尻尾側のひげ取り状態が良くなります。
	

5. 運転停止

- ① モータースイッチをOFFにします。
- ② カッターはモーターが停止すると自動的にブレーキがはたらき停止します。
- ③ プラグを電源より抜いてください。

6. カッターモーターの脱着と一時不能操作

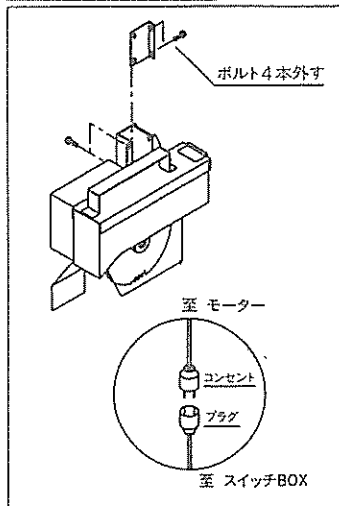
大根の調整作業をするとき、どちらかのカッターが不要になったり、反対に必要になったときなど、モーターは簡単に脱着したり、一時停止できます。但し、単相仕様に限り、次の型式の機械です。

DA4-11I(R, L)S₁・DA4-10I(R, L)S₁・DA4-01I(R, L)NS₁

DA4-11(R, L)S₁・DA4-10(R, L)S₁・DA4-01(R, L)NS₁

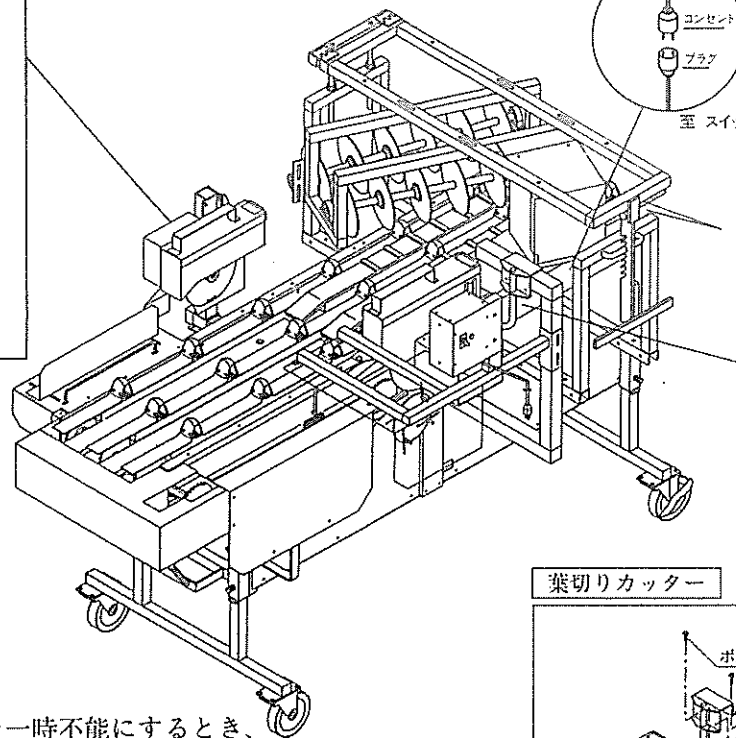
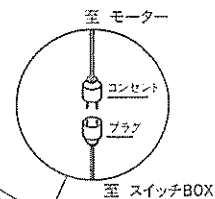
▲ モーターの脱着は傷害防止のため、電源スイッチを「OFF」にしモーターを停止させ、電源コードをコンセントから抜いて行ってください。

尻尾切りカッター

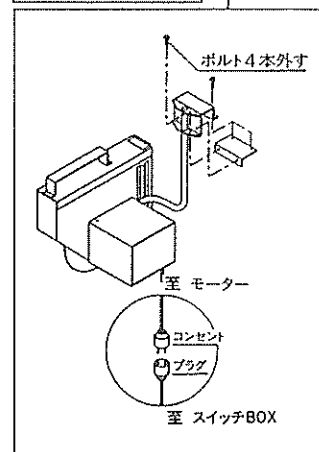


毛取りモーター

プラグからコンセントを外します。



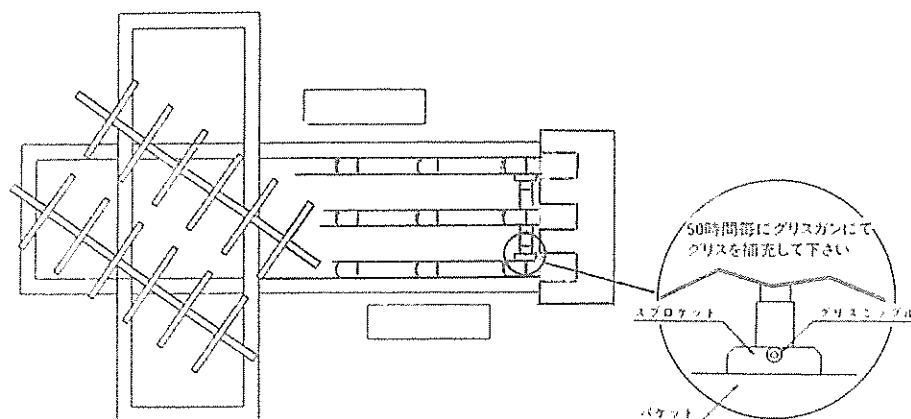
葉切りカッター



- モーターを一時不能にするとき、
 - ① 電源コードをコンセントから抜きます。
 - ② プラグをコンセントから抜きます。
 - カッターを外すとき
 - ③ 電源コード及びプラグをコンセントから抜き、ボルト4本をはずしフレームからおろします。
- ※ 本機側のプラグにはビニール袋をかぶせ漏電防止を行ってください。

日常の点検と整備

4. スプロケットの注油



連続運転により、チェーンの伸びが occurs。この伸びが左右が異なるとチェーンレールに接触するおそれがありますので、チェーンの伸びを修正するために50時間毎に注油してください。

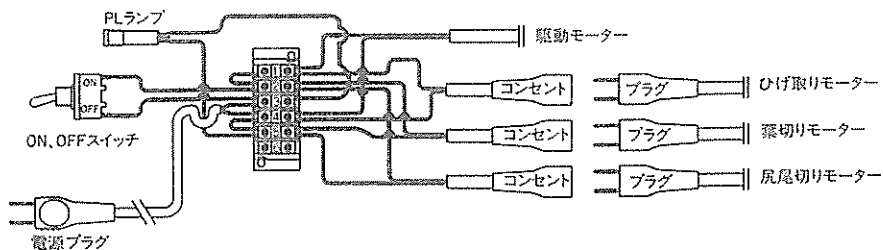
(上部3ヶ所)
(下部3ヶ所)

故障と対策

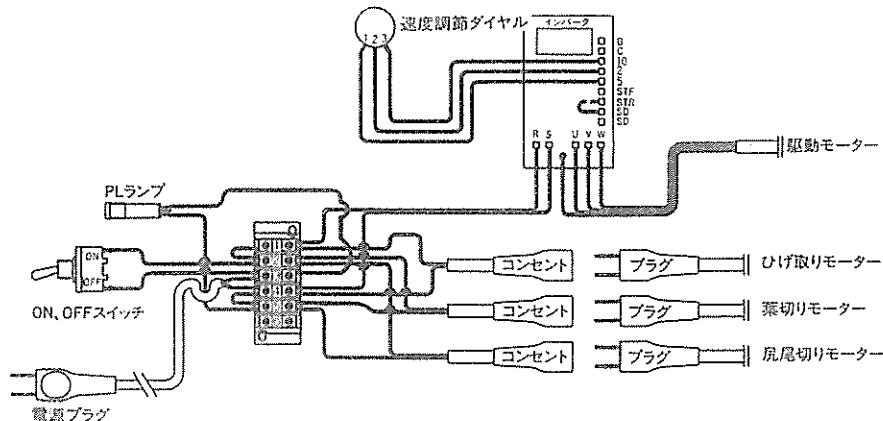
現 象	原 因	対 策
モーターが回転しない	・プラグが電源に接続されていない ・スイッチがOFF状態になっている ・電圧が低下している (85V以下=単相仕様) ・単相運転になっている (三相200V専用)	・電源に接続する ・スイッチをONにする ・昇圧をはかる ・電源、電圧の確認
バケットが回転しない	・チェーンがレール及びスプロケットから外れている ・バケットが引掛かっている	・チェーンを掛けなおす ・バケットの曲げを直す
葉切りカッターが回転しない	・カバー内に葉屑がつまっている	・カバー内を清掃する
尻尾切りカッターが回転しない	・カバー内に大根屑がつまっている	・カバー内を清掃する
ひげ取り部が回転しない	・Vベルトが正しく掛かっている ・Vベルトが延びている ・オートカットが作動する (単相100V仕様) (電圧が低下している、85V以下)	・正しく掛け直す ・テンションを張る ・昇圧をはかる
葉送りチェーンが回転しない	・チェーンがゆるみ、かみこんでいる	・テンションを張る

配線図 (スイッチボックス)

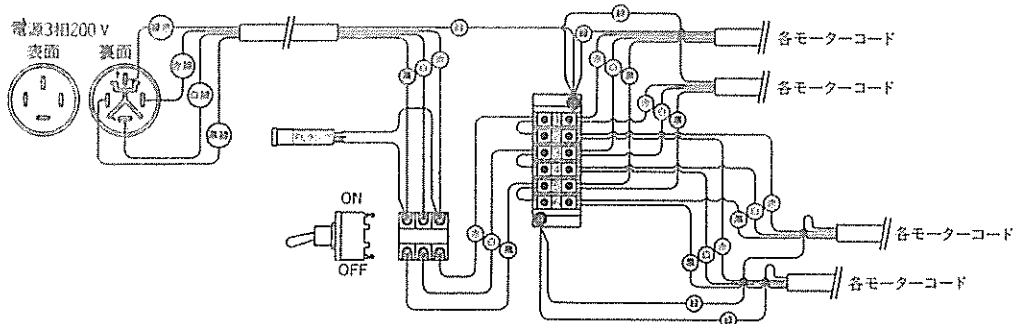
○単相仕様(100 V)



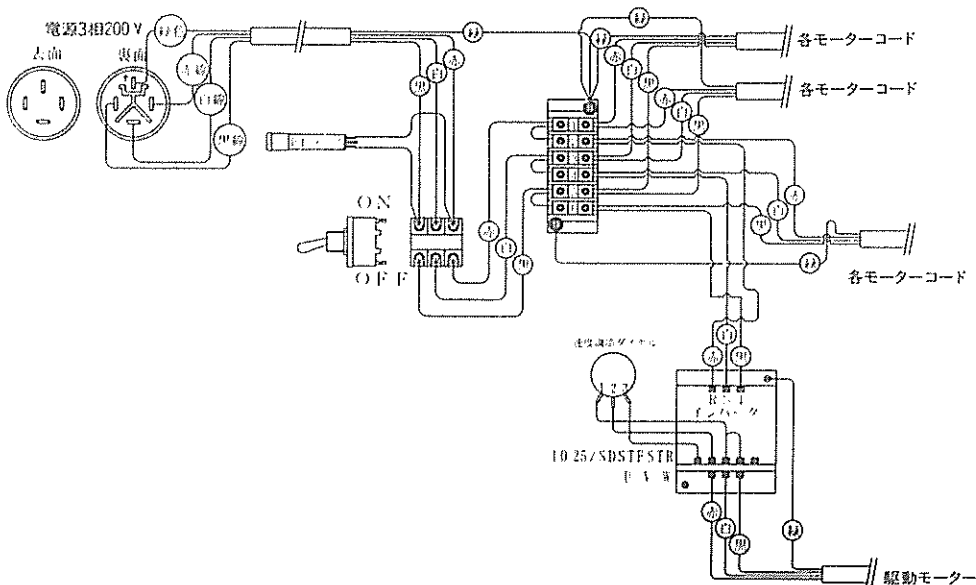
○単相(100 V)インバータ仕様



○三相(200 V)



○三相(200 V)インバータ仕様



追補（日常の点検と整備）

※バケットチェーンの張り方

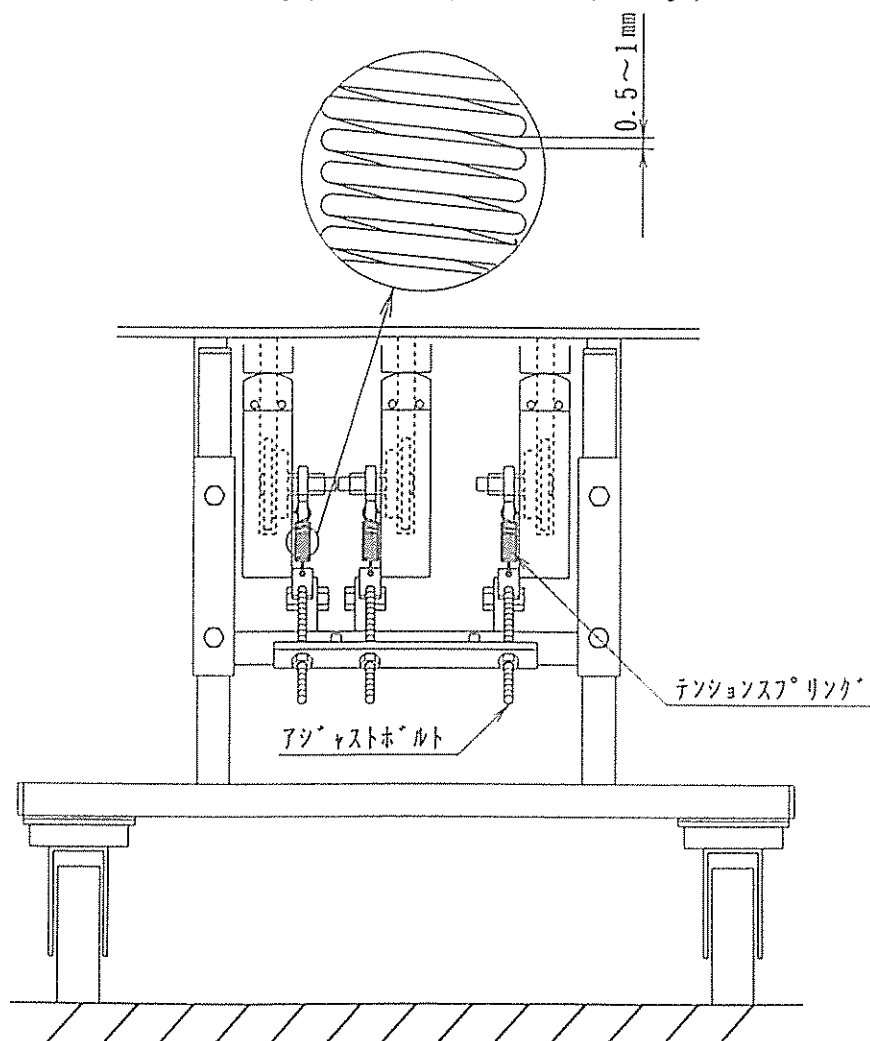
連続運転により、チェーンの伸びがおこります。この状態で作業を行うとチェーンがスプロケットから外れる等、故障の原因になるおそれがあります。

作業前には、チェーンが張っているか確認後、調整を行ってください。

テンションスプリングが全く伸びていない状態では張りがたりません。

3本のテンションスプリング隙間が0.5～1mm程度になるよう調整してください。

（テンションスプリングは張りすぎないように注意して下さい。）



100

101

102



株式会社 岡山農栄社

本社営業部 岡山市中区雄町字八反田 394-3 (086)279-6100
北海道(営) 旭川市工業団地 5 条 3 丁目 3 番 1 号 (0166)36-5115
東日本(営) 仙台市宮城野区萩野町 4 丁目 2-44 (022)232-5609
関東事務所 伊勢崎市粕川町 1 6 1 6 (022)232-5609
九州(営) 熊本市健軍 3 丁目 45-13 (096)368-7407
本社工場 岡山市中区雄町字八反田 394-3 (086)279-0313

お客様メモ

購入日	平成	年	月	日
購入店名				